

て実施設計へ～

3月定例会 予算議会

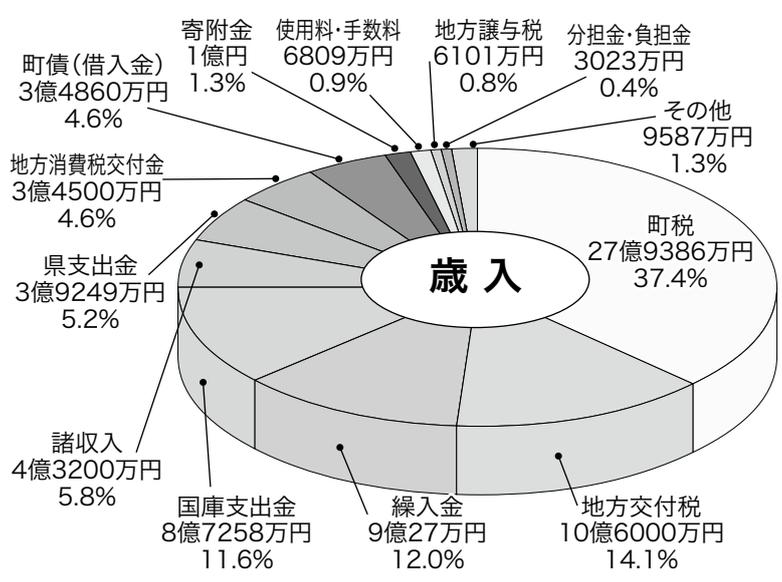
116億2795万円

令和7年第1回定例会は3月3日に開会され令和7年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、公営企業会計予算、条例案及び令和6年度補正予算等を原案のとおり可決し、21日に閉会した。一般質問には、7名が登壇した。

**一般会計
75億円**
(対前年度10.1%増)

歳入

町税約27億円(前年度比約10.2%増)

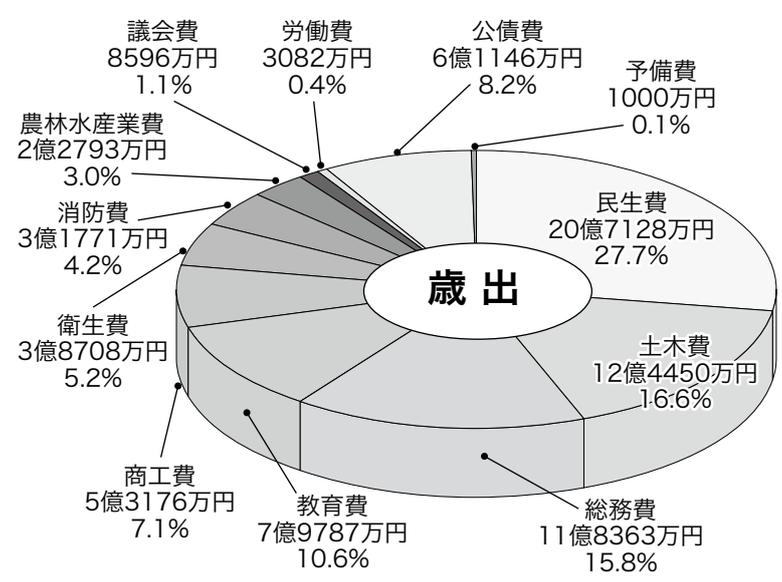


前年度に対して、個人町民税は6千万円の増額、法人町民税は2億1000万円の増額、固定資産税につきましては、720万円の減額を見込み、町税全体では、2億5833万円の増となる27億9386万円を計上した。

歳入

歳出

新たに高齢者補聴器購入費助成及び带状疱疹ワクチン定期接種化



保健・福祉分野の施策を推進する基幹的な機能に加え、子育て支援センターや図書館の機能を含み、新複合施設建設事業として、実施設計に係る予算を計上し、8年度からの建設に向け準備を進めていく。

歳出

購入助成事業、带状疱疹予防接種事業、ベビースタター利用支援事業及び本運行を開始するデマンド交通乗合タクシーに係る経費等を計上し、住民サービスの向上を図っていく。

令和7年度 予算

～新複合施設建設に向け



御堂川の桜

令和7年度 予算総額

特別会計
30億4853万円
 (対前年度0.6%減)

公営企業会計(下水道)
10億7942万円
 (対前年度5.8%増)

会計名	予算額	対前年度増減率
国民健康保険	13億2107万円	△2.5%
介護保険	14億3190万円	0.6%
後期高齢者医療	2億9556万円	2.5%

会計名	予算額	対前年度増減率
下水道事業	10億7942万円	5.8%

国民健康保険
 保健事業を推進するため、保険税収入を主な原資として県へ納める事業費納付金と、県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等。総額は前年度比△2.5%、3339万円の減。

国民健康保険

後期高齢者医療
 被保険者から保険料を徴収し、制度運営主体である後期高齢者医療広域連合へ納付する。総額は

後期高齢者医療

第9期介護保険事業計画に基づき、保険給付と地域支援事業を実施する。総額は前年度比0.6%、863万円の増。

介護保険

前年度比2.5%、728万円の増。



新複合施設立体図

下水道事業会計

令和5年度に下水道事業計画区域の拡張をした、葛尾組合及び坂城インター工業団地周辺の工事に着手し、面的な整備を進めていく。

総額は前年度比5.8%、5872万円の増。